

福岡医発第 882号 (地) 24.6.29
平成24年 6月29日 付
小郡三井医師会



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻 一 良
(公印省略)

「言語聴覚の日」無料相談会のご案内

標記の件につきまして、一般社団法人日本言語聴覚士会及び福岡県言語聴覚士会より別添のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

日本言語聴覚士協会では、言語聴覚士法が施行された9月1日を「言語聴覚の日」と定め、この日を中心に言語聴覚に関する集中的な広報活動が行われています。

その活動の一環として、福岡、筑後、筑豊の3会場において下記のとおり相談会が開催されます。

本相談会は、一般の方を対象に、言語聴覚障害や、摂食・嚥下障害、吃音、高次脳機能障害など、言語聴覚士が関わっている障害について広く知っていただくとともに、ことばや聞こえ、食べることに対する相談や訓練施設の相談などが行われる予定です。

つきましては、貴会会員への周知方につきよろしくお願い申し上げます。

なお、筑豊地区にて開催されます市民講座は、別添チラシ裏面の申込用紙にご記入の上、嘉麻赤十字病院リハビリテーション科 有松 (FAX: 0948-52-1927) まで、直接お申込下さい。

記

日 時:	福岡地区	平成24年9月9日(日)	10時~15時
	筑後地区	平成24年9月2日(日)	11時~15時
	筑豊地区	平成24年10月21日(日)	10時~15時

会 場:	福岡地区	福岡市立心身障がい福祉センター
	筑後地区	イオンモール大牟田2F イベントスペースホール
	筑豊地区	飯塚市穂波福祉総合センター ふれあい「広場」ほなみ

内 容: 言語聴覚障害に関する相談会の開催、言語聴覚障害、言語聴覚士に関する展示
市民講座の開催(筑豊地区で予定)

対 象 者: 一般希望者

参 加 費: 無料

平成 24 年 6 月 吉日

各 位

一般社団法人 日本言語聴覚士会
福岡県言語聴覚士会
会長 浅田 里美

「言語聴覚の日」無料相談会のご案内

初夏の候 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業につきましては、平素より格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび言語聴覚士の全国組織である日本言語聴覚士協会では言語聴覚士法が施行された 9 月 1 日を「言語聴覚の日」と定め、この日を中心として言語聴覚に関する集中的な広報活動を行うこととなりました。そこで、本会におきましても、その一環として 9 月から 10 月にかけて福岡・筑後・筑豊の 3 会場にて相談会の開催を予定しております。

内容としては、一般の方を対象に言語聴覚障害や摂食・嚥下障害、吃音、高次脳機能障害など、言語聴覚士が関わっている障害について広く知っていただくとともに、ことばや聞こえ、食べることに對する相談や、訓練施設紹介などを行う予定です。また、この「言語聴覚の日」の事業を通して、言語聴覚士が関わるさまざまな障害について、一人でも多くの方が理解を深めて下さることを願っております。

つきましては本会が企画いたします下記の事業に関しまして、関係者の皆様に周知くださるようお願いいたします。

ご高察の上、ご配慮賜りますよう、何とぞ宜しくお願いいたします。

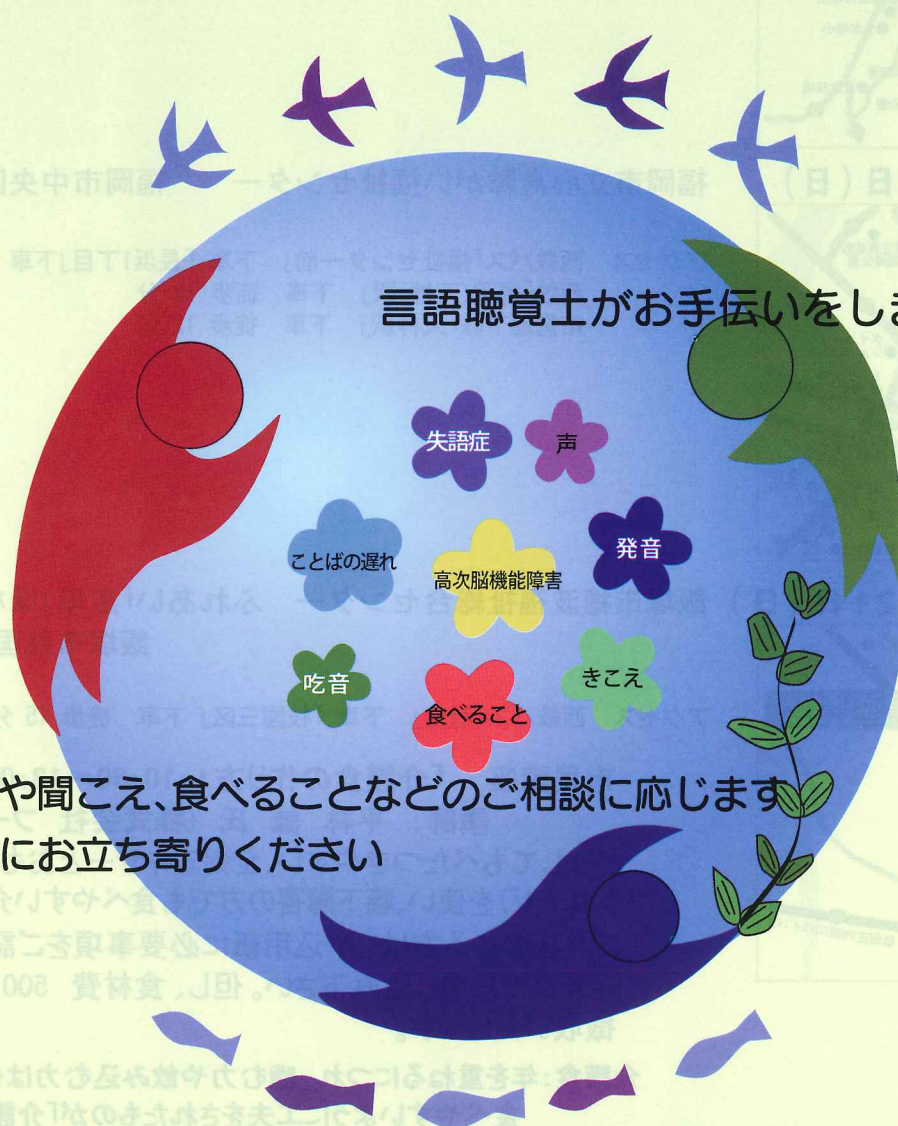
記

1. 日 時 : 福岡地区 平成 24 年 9 月 9 日 (日) 10 時～15 時
筑後地区 平成 24 年 9 月 2 日 (日) 11 時～15 時
筑豊地区 平成 24 年 10 月 21 日 (日) 10 時～15 時
2. 会 場 : 福岡地区 福岡市立心身障がい福祉センター
筑後地区 イオンモール大牟田 2F イベントスペースホール
筑豊地区 飯塚市穂波福祉総合センター ふれあい「広場」ほなみ
3. 参加費 : 無料
4. 後 援 : 福岡県、福岡市、飯塚市、(社)福岡県医師会、(社)福岡県看護協会、
(社)福岡県歯科医師会、(社)福岡県歯科衛生士会、(社)福岡県理学療法士会、
(社)福岡県作業療法協会、(社)福岡県介護支援専門員協会、
(社)福岡県栄養士会、福岡市社会福祉事業団
5. 内 容 : ・言語聴覚障害に関する相談会の開催
・言語聴覚障害、言語聴覚士に関する展示
・市民講座の開催 (筑豊地区で予定)
6. 対象者 : 一般希望者
7. 主 催
福岡県言語聴覚士会 (会長 浅田里美)
事務局 : 〒811-3195 古賀市千鳥 1-1-1
独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター
リハビリテーション科内 言語聴覚室
松尾 恵
TEL : 080-1776-5108 (専用携帯) FAX : 092-942-2705

以上

「言語聴覚の日」 無料相談会

言語聴覚の日とは：ことばや聞こえ、食べることの障害について、一般の方に広く知ってもらい、理解を深めるために、言語聴覚士法施行日である9月1日を言語聴覚の日としました。



【筑後】平成 24 年 9 月 2 日(日) 11:00~15:00 イオンモール 大牟田2F イベントスペースホール

【福岡】平成 24 年 9 月 9 日(日) 10:00~15:00 福岡市立心身障がい福祉センター

【筑豊】平成 24 年 10 月 21 日(日) 10:00~15:00 飯塚市穂波福祉総合センター ふれあい「広場」ほなみ

※筑豊会場のみ、相談会を成人 10:00~15:00、小児 11:00~15:00 とします。ご注意ください。

筑豊会場では市民講座として介護食の作り方教室を開催します。

参加ご希望の方は、事前申込みが必要となります。

どなたでも自由に参加できます（参加無料）

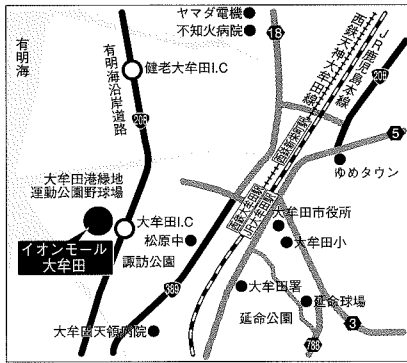
主 催：福岡県言語聴覚士会 <http://homepage3.nifty.com/fukuoka-st/>

事務局：福岡東医療センター リハビリテーション科内 言語聴覚室 TEL:080-1776-5108

後 援：福岡県、福岡市、飯塚市、(社)福岡県医師会、(社)福岡県歯科医師会
(社)福岡県看護協会、(社)福岡県理学療法士会、(社)福岡県作業療法協会
(社)福岡県歯科衛生士会、(社)福岡県介護支援専門員協会
(社)福岡県栄養士会、福岡市社会福祉事業団

【筑後会場】 9月2日(日)

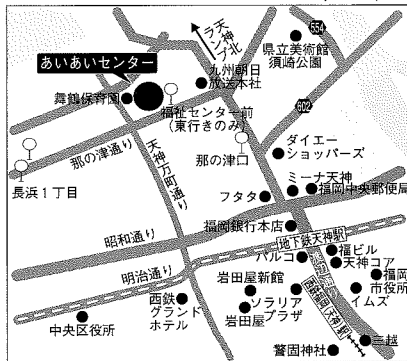
イオンモール大牟田 大牟田市岬町 3 番 4



アクセス 西鉄「大牟田駅」西口よりバスで約 6 分「イオンモール大牟田」下車

【福岡会場】 9月9日(日)

福岡市立心身障がい福祉センター 福岡市中央区長浜1丁目 2-8



アクセス 西鉄バス「福祉センター前」 下車、「長浜1丁目」下車 徒歩 2 分
西鉄「福岡(天神)駅」 下車 徒歩 15 分
市営地下鉄「天神駅」 下車 徒歩 12 分

【筑豊会場】 10月21日(日)

飯塚市穂波福祉総合センター ふれあい「広場」ほなみ
飯塚市枝国 402番地 100



アクセス 西鉄バス「穂波」 下車、「枝国三区」下車 徒歩 15 分

市民講座 「介護食の作り方」 10:30~13:00 (受付開始10:00)

講師: 平林 誠 氏 (株式会社 フードケア)

どうしてもべたつきやすい、全粥ミキサーとおもちをゲル化剤(スベラカーゼ)を使い、嚥下障害の方でも食べやすい介護食を作ります。
ご興味のある方は、申込用紙に必要事項をご記入の上、事前に FAX にてお申し込み下さい。但し、食材費 500 円を当日会場にて徴収いたします。

介護食: 年を重ねるにつれ、噛む力や飲み込む力は低下します。そこで、食べやすいように工夫をされたものが「介護食」です。

※ご参加の方は、第 2 駐車場をご使用下さい。

10月21日 筑豊 「言語聴覚の日」 市民講座 (介護食の作り方) 10:30~13:00 (受付開始 10:00)

ファックス申込用紙

※食材費として 500 円必要です

送信先: FAX 0948-52-1927 嘉麻赤十字病院 リハビリテーション科 有松まで
TEL 0948-25-0861

お名前

ご職業

フリガナ

連絡先ご住所

〒

市

電話・ファックス番号

TEL ()

FAX ()

申込締切り: 定員 (30 名) になり次第締切りとします。



福岡県言語聴覚士会



ニューズレター

NEWS LETTER 第51号 2012年6月25日発行

事務局：独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター リハビリテーション科 言語聴覚室 松尾 恵
〒811-3195 古賀市千鳥1-1-1 TEL 080-1776-5108 / FAX 092-942-2705 県士会HP：<http://homepage3.nifty.com/fukuoka-st/>

巻 頭 言

副会長 衛藤 泰博

私は、この4月に、県内の言語聴覚士養成校の入学式に参加する機会がありました。入学式では、言語聴覚士になるという大きな夢と希望を持って入学してきた新入生に向けて、来賓の方々から、暖かい励ましのメッセージや体験談とともに、絆やコミュニケーション、連携といったキーワードが紹介されていました。私も県士会の立場から、学生として、しっかり学んで、卒業後は、早く県士会の仲間になってもらうことを期待して、次のようなお祝いの言葉を述べました

「フランスの詩人、ルイ・アラゴンの詩を紹介します。

『学ぶとは、誠実を胸に刻むこと。教えるとは、ともに希望を語ること』

皆さんは、これから学生として、基本、基礎をしっかり学んでください。将来の仕事を目指して、誠実を胸に刻んでください。そして、資格をとり、仕事を始めたら、『訓練』をするのではなく、患者ご本人、子どもや保護者、家族と一緒に、希望や未来について、いろんなお話ができればいいですね。教育の分野では、訓練ではなく『学習』という表現を使います。はじめから難しい課題、苦手な課題をしても、本人に意欲がある場合は大丈夫ですが、長くは続きません。その人の得意な分野、好きなことなどを知り、できることをさらに伸ばすことで、いつの間にか、苦手なところも少しずつ伸びていくようです。患者さんや子ども、保護者が、ほっとする、心のオアシスのような場になるように、患者さんや子どもを中心に、いろんな人をつなぐコーディネーターとして、またよき相談相手、話し相手、よき理解者になれるように、がんばってください。」

ふりかえってみれば、私も、学生の頃や仕事を始めた新人の頃は、いろいろな夢や希望を持っていました。仕事に慣れ、いつの間にか、あたりまえのように仕事をするようになり、日々の業務に追われ、お互いの絆やコミュニケーションといった、大切なことを忘れていることに気づくことがあります。そんな時、私は、先に紹介した詩人の言葉を思い出して、自分自身をはげましています。

『学ぶとは、誠実を胸に刻むこと。教えるとは、ともに希望を語ること』

■ 総会・講演会の参加ありがとうございました 会長 浅田里美

5月27日、第13回総会を行いました。総会には127名の参加があり、今年は、法人化についての大きな議案が検討されました。法人化の意義について、副会長から丁寧な説明があり、言語聴覚士の将来について考える良い機会になりました。今後、法人化に向け具体的に動いていきます。

講演会は、「言語聴覚士に必要な栄養管理について～主な疾患と栄養ケアのポイント～」と題して、福岡県栄養士会常任理事の秀平キヨミ先生をお招きして、先生の豊富な臨床経験を基に、栄養の基礎から、リハビリを行う上での栄養ケアの必要性についてご講演をしていただきました。127名の参加者があり、非常に充実した時間となりました。全体的には「基本から教えて頂いて勉強になった。」「テンポ

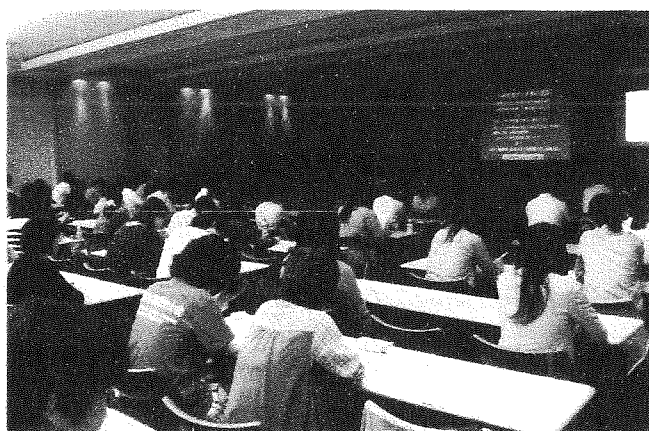
良い先生の話に引き込まれました。」「NSTに関わっているのも業務に役立ちます」と言ったご意見を頂きました。言語聴覚士も言語聴覚分野のみでは無く、栄養学が必要な状況となっている中で、今



秀平 キヨミ 先生

回の秀平先生の講演内容は大変勉強になりました。

また、今回は不都合により講演開始時間が大幅に遅延し、参加いただきました皆様に大変ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。講師の先生の都合とはいえ、スタッフの再確認や事前の準備についても検討をしたいと考えています。急な変更にも関わらずたくさんの参加ありがとうございました。



講演会風景

■ 「講演会参加記」

今回、講演会・第13回定期総会に参加させていただきました。講師は管理栄養士の秀平キヨミ先生で、「言語聴覚士に必要な管理栄養について～主な疾患と栄養ケアのポイント～」というテーマで講演されました。管理栄養について無知の状態でした

戸畑リハビリテーション病院 富部由紀子

が、大変分かりやすく楽しく勉強させていただきました。また、定期総会では参加人数の多さに驚きましたが、初めての経験が出来ました。不慣れなことが多々ありますが、初心を忘れずに頑張っていきたいと思います。

ブロック交流会

今年度は新人会員が多く、6ブロックで約50名の参加がありました。同じブロックにいても、会員同士が顔を合わせる機会がないので、近況を話し合いました。短い時間ではありましたが、勉強会の情報も出て、楽しいひと時でした。

職能局 大森 晶子

様々な病院の先生方とお話ができ、とても貴重な時間となりました。今後ともよろしくお願いします。
(健康リハビリテーション 内田病院 松本直樹)

県士会に知り合いが少なかったので、交流会で他のSTの先生方とお話できてとても楽しかったです。色々な先生とお知り合いになれてうれしいです。
(あいあいセンター 中村)

多くのSTの先輩方とお話することができて大変勉強になりました。
(早良病院 末田秀也)

初めて参加させていただきました。もっと交流を深め情報交換をしていきたいと思いました。
(甘木中央病院 竹藤・舎川)



学術局より

平成24年2月5日に開催しました春の講演会「食えることが困難な子どもたちへの支援の考え方と取り組み～ライフステージに沿って～」でお話し頂いた高見 葉津先生より、受講者の方々から寄せられた質問のご回答を頂きました。一部抜粋して掲載しております。そのほかのご回答は県士会HPにてご覧ください。

Q

**訓練頻度やどのくらいのスパンでみていくのでしょうか。
ずっと定期的に訓練を組んでいくのでしょうか。**

A 訓練頻度や終了の時期というのは、なかなか一言では言えないところがありますね。対象のお子さんの年齢や、持っておられる課題、お母様の不安程度などによっても違いますね。また、私達STの受け入れのキャパがどの程度あるかによっても違ってくと思います。

乳児期で授乳や離乳食につまずいて、栄養補給が上手くできていない場合や乳幼児期で経管栄養から経口への移行が必要なお子さん、また、乳児期に育児に不安を持っておられるお母さんには、指導回数を多くし、きめ細かく見ていく必要があるでしょう。

少なくとも、乳幼児期に嚥下に課題があるお子さん、摂食機能を促進したいお子さんには、少し頻度を多くしたほうがよいでしょう。私の勤務しているセンターでは、1～1.5ヶ月に1回程度指導を行っています。乳児や嚥下に課題のあるお子さんは感染症に罹患しやすいので、そのことも含めて回数を考えていかなければならないでしょう。

就学後は、学校でのフォローがあるので、頻度は減少しますが、嚥下機能低下が予測できるようなお子さん(例えば、二次障害や呼吸障害を生じるお子さんですね)には年単位でも経過を見ていくのがよいでしょう。ご自分の施設で実施できないときは、医療機関に引き継げるとよいですね。

思春期、青年期、成人期は、子どもさんのニーズに合わせ、必要があればみまますよといった受け入れの状況を作っておくことがよいでしょう。

ライフステージ(高見)を参考にしてくださって、ご自分の判断を構築していつてください。

会長 浅田 里美

県士会が言語聴覚士の役に立つには、言語聴覚士が市民の皆さんに役に立つには、社会的に顔を持つことが大切だと思い知らされる機会がたくさんあります。言語聴覚士の内容が変わるわけではありませんが、安心、信頼して、私たち言語聴覚士の能力を利用していただきたいと思います。また、言語聴覚士として自信を持って患者さんに関われるような研修や組織化に取り組みます。一緒にやりましょう。

副会長 佐藤 文保

今年は福岡で言語聴覚学会が、来年は九州地区学術集会が、そして再来年は...？結構大きな行事が続きます。県士会として協力すべき会もあれば、県士会が主催する会もあります。大きな会になればなるほど、運営委員だけでは手が足らず、当然、各ブロックに協力を依頼しないといけません。突然の依頼に戸惑うブロックもあるかと思いますが、県士会の活動を充実したものにするためにも、一緒に盛り上げていってほしいです。

事務局

総会資料の作成発送を終えたら、今度は総会成立に向けて総会出欠ハガキの到着を心待ちに...数が足りなければ何度も呼びかけを...総会まで落ち着かない日々です。事務局を担って何年か経ちますが、本当にこの時期は大変です。皆さん、総会出欠ハガキはなるべく早く出して下さい!!

学術局

学術局は、講演会や研修会準備が常に同時進行していて、一つが終わるとホッとする間もなく次の開催準備が始まります。多くの会員に参加してもらうにはどんなテーマが良いか、協会HPとにらめっこし、年間の構成のバランスを考えながら頭を悩ませています。皆さんも「この先生の話、他の会員にも聞かせたい!」という情報があればどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。今年度も部局員一同、魅力ある講演会の開催を目指しがんばります。

社会局

言語聴覚士(ST)や言語聴覚障害についての認知度を上げることを目標としています。その為に「言語聴覚の日」イベント開催や障害別パンフレット作成、関連職種との連携などを進めています。専門職としての知識・技術向上の努力は当然必要ですが、STが活躍できる場を増やし、コミュニケーションや摂食嚥下で支援の必要な方にサービスを提供するためには、多くの方にSTや言語聴覚障害を知っていただくことも欠かせないと考えています。NHKでのドラマ放映にあやかって、当会での活動も盛り上げたいと思います。

職能局

今年は診療報酬同時改定もあり、全員で診療報酬の情報収集、提供に取り組んでいます。ホームページや会報に掲載していますので、ご利用ください。他にも、リスクマネジメント、求人情報、ブロック活動サポート、小児療育サポート(「小児サポートチームST 福岡」)、に携っています。皆さんが、仕事がしやすいようなお手伝いをしていきます。部局員を見かけたら、声をかけてください。よろしくお願いします。

広報局

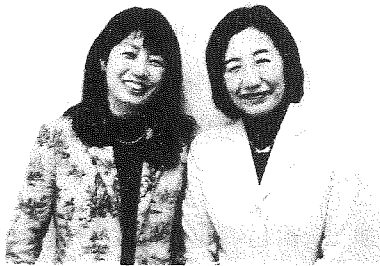
ニュースレターやホームページを会員の方に少しでも身近に感じてもらえるように、そんな思いから、昨年度より本や教材を紹介するコーナーを設けました。好評・悪評ともに耳に入っていないので、良い試みだったのか何だったのか...手応えを感じないまま1年が過ぎていきました。とにかく、これからも試行錯誤しながら今年も作っていきたいと思います。

「平成23年度福岡県三士会合同

リハビリテーション実務者研修会の開催報告」 副会長 佐藤 文保

去る3月10日、11日に、県三士会合同訪問リハビリテーション実務者研修会が麻生リハビリテーション大学校で開催されました。昨年に続き、今年も約200名の参加者があり、訪問リハに対する関心の高さが伺えました。そのうち言語聴覚士(ST)の参加者は33名でしたが、新たに訪問リハが始まった施設や訪問リハを開設予定の施設のSTも多く、徐々にではありますが、福岡でも訪問リハに関わるSTが増えて来ている印象を受けました。

今回は、1日目に矢津剛先生から医師の立場から理学療法士、作業療法士、言語聴覚士に望むことと題した講演とそれぞれの訪問リハの実際について、各セラピストから報告があり、シンポジウムが開催されました。



2日目の3・11東日本大震災から一年目となったこの日には、宮城県理学療法士会会長の渡邊好孝先生により、東日本大震災での経験談

を踏まえながら、在宅セラピストの資質についての講演がありました。また、言語聴覚士の半田理恵子先生からは、訪問リハにおける言語聴覚士の活動について紹介があり、理学療法士の野尻晋一先生からは、訪問リハビリテーションの実際と今後の展望についての講演がありました。

この2日間の研修会で感じたことですが、それぞれの職種でいろいろな役割があります。各職種が訪問に関わる患者の問題点をさまざまな視点から評価・観察し、それぞれの役割を意識し行動することが必要であると感じました。また訪問リハにおける職種間の連携の重要性についても学びました。こうした研修会が今後の言語聴覚士による訪問リハビリテーションの推進にもつながることを期待したいと思います。

なお、今回2日間(10時間)研修を受講された方には修了証が発行されます(昨年と合わせて10時間受講された方にも発行されます)。また、修了証をもって日本言語聴覚士協会の生涯学習プログラムのポイントとなりますので、修了証は大事に保管して下さい。

「言語聴覚の日」イベント開催のお知らせ

言語聴覚士と言語聴覚障害の啓発を目的として、平成19年度より「言語聴覚の日」無料相談会を行ってまいりましたが、本年度も「言語聴覚の日」イベントを4会場で開催する予定です。今回は商業施設での開催を企画される会場もあり、よりイベントを盛り上げてまいりたいと思っております。この活動を通して、言語聴覚士と言語聴覚障害が広く周知されることを望んでおります。会員の皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

◎平成24年度「言語聴覚の日」イベント

各ブロック開催日時・場所(予定)

- 福 岡: 9月 9日(日) 10時～15時 福岡市立心身障がい福祉センター
- 筑 後: 9月 2日(日) 10時～15時 イオンモール大牟田
- 筑 豊: 10月21日(日) 10時～15時 飯塚市穂波福祉総合センター ふれあい「広場」ほなみ
- 北九州: 西日本国際福祉機器展期間中(11月9日～11日)に開催 西日本総合展示場

診療報酬への道 ～平成24年度 診療報酬・介護報酬の改定に関して～

職能局 児玉 佳奈

今回は、4月より実施されている診療報酬・介護報酬改定についての報告をしたいと思います。

今年度は診療報酬・介護報酬の同時改定で、診療報酬（本体）+1.38%、介護報酬（本体）+1.2%と前回に続き、引き上げとなりました。

厚生労働省から改定の概要として、診療報酬では医療と介護等との機能分化や円滑な連携、在宅医療の充実（医療と介護との同時改定であり、超高齢社会に向けて、急性期から在宅、介護まで切れ目のない包括的なサービスを提供）等が挙げられています。

関連する内容としては新たに回復期リハビリテーション病棟入院料1の区分が導入されました。回復期リハビリテーションの充実を図り、早期にリハビリテーションを開始し、より良い状態で介護保険サービスに繋げていくという目的があるようです。施設基準にSTが専従として加えられたことは、STの必要性が認められた評価と受け止め、回復期においてSTが担う役割は大きいものであると考えます。また、対応を強化するため初期加算45点が新設され、算定要件を満たせば最大で75点の早期加算が算定可能となります。維持期リハビリテーションの評価では点数が引き下げられ、医療保険での提供を原則次回改定までとし、今後は介護保険へ移行していく方針のようです。医療保険から介護保険への円滑な移行を目的に併用期間は1ヶ月から2ヶ月へ延長となっています。また、外来リハビリテーション診療料が新設され、基準を満たしていれば包括的な指示で実施できるように診察が緩和されました。

介護報酬では地域包括ケアシステムの基盤強化（介護サービスの充実・強化、給付の重点化や介護予防・重度化予防）、医療と介護の役割分担・連携強化等が挙げられています。

関連する内容としては、介護老人保健施設の報酬改定や、通所リハビリテーションの充実としてリハビリテーションマネジメント加算、個別リハビリテーション実施加算、短期集中リハビリテーション実施加算、重度療養管理加算等の見直しや改定がありました。訪問リハビリテーションでは医師の診察頻度の見直し、介護老人保健施設からの訪問リハビリテーション、訪問介護事業所との連携に対する評価が挙げられています。

その他、診療報酬及び介護報酬の情報に関しては、厚生労働省をはじめ、各所から出てきていますので、ご確認をお願い致します。下記のアドレスをご参照ください。

診療報酬・介護報酬改定に関する情報

■厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>)

■日本言語聴覚士協会ホームページ (http://www.jasht.or.jp/st_app/)

■福岡言語聴覚士会ホームページ (<http://homepage3.nifty.com/fukuoka-st/>)

診療報酬に関する窓口(質問等)

職能局 メールアドレス: shinryohoshu.f.st@gmail.com

～新人研修会のお知らせ～

県士会では下記の要領で、新人研修会を開催いたします。今回は、基礎講座と「臨床現場から伝えたいこと～新人STに向けて～」として、成人領域と小児領域でそれぞれご活躍の先生方に臨床での経験談をもとにお話しいただきます。参加ご希望の方は、申込用紙を県士会のホームページ(<http://homepage3.nifty.com/fukuoka-st/>)からダウンロードして下さい。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

【基礎講座】 「臨床業務のあり方・進め方」

【講 師】 大森 晶子 先生 (春日市くれよんクラブ)

【研 修 会】 「臨床現場から伝えたいこと～新人STに向けて～」

【講 師】 藤 川 仁 先生 (健康リハビリテーション内田病院)

原 直 美 先生 (福岡市心身障がい福祉センター)

【日 時】 2012年7月22日(日) 10:00 ～ 13:00

◎受付開始 9:30 ～ ◎基礎講座 10:00 ～ 11:30

◎休憩時間 11:40 ～ 11:50 ◎研 修 会 11:50 ～ 12:50

(それぞれに10分程度の質疑応答時間を設けています。)

【会 場】 福岡市心身障がい福祉センター 7階大研修室

【参 加 費】 県士会会員:1,000円 非会員:3000円(ST) 学生:500円

今回の研修会は、日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムポイント取得対象研修会となります。

当日の受付時に県士会会員証の提示がないと
「非会員料金」になります。

基礎講座を受講される方は生涯学習講座受講記録票をご持参ください。

「小児サポートチームST 福岡」

昨年度から県内のSTが取り組んできた小児療育検討会に名前が決まりました。

「小児サポートチームST 福岡」です。

活動は福岡県内全体の子どもたちへのサポートです。具体的には小児療育担当者の技術向上と療育施設の拡充に継続的に取り組みます。メンバーは県内で療育に携っているSTです。現在、小児の療育を実施していない施設へのサポートを行いますので、ぜひご連絡ください。

第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会「最優秀企業展示賞」受賞

咀嚼が困難な方でも、らくらく食べられる
しっとりやわらかくておいしい、パンの介護食

「らくらく食パン」

ジャムをのせたり、柔らかく仕上げた卵料理やシチューと組み合わせる。
シンプルな食パンだから、さまざまな食事メニューが楽しめます。

- 「パンがゆ」を作る手間が不要です。
- 個包装だから、必要な時にレンジで温めるだけ!
- 冷凍でのお届けだから冷凍庫で保存ができます。

プレーン



どんな食事にも合う
プレーン味
(卵・乳製品不使用)

あっさり味



ほんのりコンソメ風味。
甘いパンが苦手な方に。

コーヒー牛乳味



昔懐かしい味。デザート
の食材としても便利。

商品に関するお問い合わせは
「お客様サポート」まで

☎082-892-0238

(月～金 9:00～17:30)

通信販売(電話・インターネット)でお買い求めいただけます。



TAKAKI HEALTH CARE FOODS
株式会社タカキヘルスケアフーズ

〒739-0323
広島県広島市安芸区
中野東3-7-1

<http://www.takaki-healthcare.co.jp>

らくらく食パン 検索

※ホームページは年中無休、
24時間受付可能です。



「健康な毎日」は「口腔ケア」から。

お口の中の「3つのケア」 清掃 保湿 リハビリ をトータルサポート

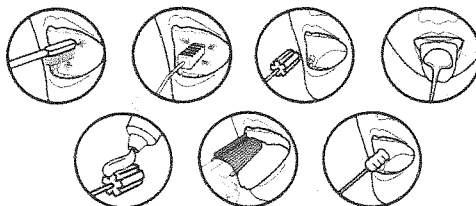


医療現場から生まれた口腔ケアシリーズ

清掃

保湿

リハビリ



マウスピュアシリーズ
口腔ケア製品ラインナップ

- 吸引歯ブラシ
- 吸引スポンジ
- 口腔ケアスポンジ
- フレッシュメイトK
- マウスピュア
- 口腔ケアガーゼ
- 口腔ケア綿棒



川本産業株式会社

本社 / 大阪市中央区糸屋町2丁目4番1号

●お客様相談窓口 ☎06-6943-8956 (10:00～17:00 月～金ただし祝祭日を除く)

●商品に関するお問い合わせ・試供品のご要望は / マーケティング本部 ☎06-6943-8941

<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>

屋内信号装置

おしらせらんぷ BA-05



家の中のどこにいても
いろいろな音を光、振動、
メッセージでおしらせします。

障害者自立支援法購入基準該当品

中継機
(各センサーからの信号を携帯受信機に送信)

音センサー(感度調整スイッチ付)

ドアセンサー

携帯受信機
(アラーム機能付)

95,000円(非課税)

リオンの補聴器リオネット

補聴器のことなら <http://e-mimi.jp>

リオネット 補聴器

九州・山口に23店舗

リオネットセンター

全店舗認定補聴器専門店 20店舗医療機器修理業許可店

博多 092-281-1133

甘木 0946-21-2233

門司 093-382-5633

香椎 092-674-4133

小倉 093-541-4133

八幡 093-661-3341

大橋 092-541-1155

黒崎 093-622-1133

曾根 093-474-3313

久留米 0942-33-4133

戸畑 093-873-7933

飯塚 0948-24-4822

周南・下関・佐賀・唐津・諫早・長崎・佐世保・熊本・宮崎・都城・鹿児島

補聴器は安心と信頼の認定補聴器専門店で!



少量で栄養補給できるスティックタイプのゼリーシリーズ



こんな方にオススメ

- ☐ 食事を残してしまう
- ☐ カップゼリーは食べきれない
- ☐ 口を開けてくれない

- 開けるとする～りゼリーが出てくる
- なめらかな食感・のどごし

1本5回の食べきりサイズ

目的に合わせて選べる2種類

●エネルギーが必要な方

●ビタミン・ミネラルが必要な方

スティックゼリー
カロリータイプ

- ▶ヨーグルト風味
- ▶少量高エネルギー

1本14g = 80kcal

保健機能食品 栄養機能食品(亜鉛、銅)

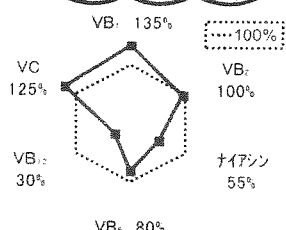
高ビタミン・高ミネラルゼリー

スティックタイプ

- ▶人気のキャロット&アップル味
- ▶ビタミン・亜鉛・銅 1日必要量の30%以上
- ▶カルシウムたっぷり!

ゼリー1本(12g)当たりの栄養素等表示基準値に占める割合(%)

新発売



〒750-8608 山口県下関市大和町2-4-8 「林兼産業㈱お客様サービスセンター」

☎ 0120-158-608